



給食に新鮮でおいしい海の幸



子どもたちは、県内の特産品でできた給食をおいしそうに食べていました（写真は東飯田小学校）

今年度、新型コロナウイルスの影響を受けている県内の1次産業を支援しようと、特産品を交換し、学校給食で提供する取組が行われています。九重町では佐伯市と姫島村と交流を行っており、新鮮な養殖ヒラメと鯛で作られた給食が献立に並びました。子どもたちからは「お肉も好きだけど魚も好き！」との声が聞かれました。



◀ 9月2日には、姫島村の鯛をつかった「鯛のかぼす風味あんかけ」が献立に



▲ 7月28日は佐伯市の養殖ヒラメのみそマヨ焼き（写真は野上小学校）



▲ 佐伯市では、9月1日に九重町の豊後牛をつかったチャプチェが給食で提供されました（写真は佐伯市の佐伯小学校）

9/28

美化活動で街をきれいに



大分県たばこ販売組合玖珠支部を中心に10名の方が集まり、たばこの吸い殻やゴミを拾いました

大分県たばこ販売組合玖珠支部が、9月28日に全国統一清掃美化活動を行いました。

この日は南山田地区の宝泉寺温泉街を中心に、周辺の国道387号線沿いにゴミ拾いが行われました。平成16年度から続けられている活動は、たばこの喫煙マナーアップを図ることを目的に毎年実施されています。

10/3

笑顔の花を咲かせるために



来館者は生け花や編み物教室の作品、切り絵等で工夫された人権パネルを楽しみながら観覧していました

10月3日に「第17回隣保館ふれ愛ひろば」が九重町隣保館で開催されました。

今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため屋外発表やバザーは中止となり、展示のみが行われました。展示では、新型コロナウイルス感染症による偏見や差別防止についての人権パネルのほか、各教室やサロンの作品が数多く展示されました。